

## プレスリリース

### PLANTS LABORATORY

プランツラボラトリー株式会社

2015年8月31日

#### 東京大学とプランツラボラトリーが省エネ型植物工場「PUT」を共同開発

東京大学大学院農学生命科学研究科（農学博士 河鱒実之教授）とプランツラボラトリー株式会社（東京都港区：代表取締役 湯川敦之）は、特許出願中の省エネ型植物工場「PUT」を共同開発した。

「PUT」は、従来の植物工場での課題であるイニシャルコスト（建設費）を同規模の従来型植物工場の1/3～1/4程度で抑えられる。また、ビニールと遮熱材を用いた新しい工法により、工場内の温度を制御することで、室内の環境制御が容易になりランニングコストも大幅削減が可能となる。

現在、東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構内に建設された「PUT」の中で植物の栽培試験を行っている。

今後は湿度を制御する研究をすすめ、温度と湿度を自由自在に環境コントロールできる植物工場を開発する。

公式ホームページ

<http://www.plantslaboratory.com>

本件についてのお問い合わせは、下記メールアドレスにてお願いいたします。

[info@plantslaboratory.com](mailto:info@plantslaboratory.com)